

事業報告

<研修名>

令和2年度 第1回 大分県公立図書館等職員研修会（初任者研修）

代替研修会（県立図書館対象職員のみ）

<開催日時等>

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、「通常の講義」でなく「講義資料の配付及び話・電子メール等を通じての質疑応答」という形式で実施（市町村公共図書館等職員 30名）

・代替研修会 令和2年6月1日（月）9：45～14：45（県立図書館職員 12名）

<会場>

参加者各職場等

・代替研修会 県立図書館 1階 第2・3研修室

<参加人数>

42名（うち県立図書館職員 12名）

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、体系的に図書館サービスの基礎を学ぶ研修機会を提供することにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

<研修内容>

【講義1】講義 「図書館サービスについて」

講師：県立図書館 サービス課 増本 課長

図書館とは何か、図書館に関わる法律、公立図書館に求められる役割など、図書館サービス概論についての講義資料

【講義2】講義 「児童サービスについて」

講師：県立図書館 サービス課 辻 主幹司書

児童サービスの基本について、児童図書館員の役割、蔵書構成、環境整備、展示、選書についての講義資料

【講義3】講義 「郷土資料について」

講師：県立図書館 サービス課 精舎 司書

レファレンスサービスについての基本的な事項及び郷土資料の収集・保存の意義、県立図書館の整理、保存、情報提供の工夫や資料を劣化させないための取り扱い方についての講義資料

【講 義4】講義 「市町村図書館における県立図書館活用方法について」
講師：県立図書館 学校・地域支援課 立川 主幹司書
※館内見学実施（代替研修会）

貸出サービス、研修など市町村図書館向け事業の説明資料

<代替研修会 当日の様子（写真）>

【研修風景】



【館内見学】



<参加者感想>

- これからの実務に活かす。
- 資料がわかりやすかった。
- わかりやすく、県とのつながりがあることがわかった。
- 講義が受けられなかったのが残念

以下代替研修会参加者の感想

- 各課の仕事内容等 よくわかった。
- 2ヶ月働いて初めて知ることを多く勉強できた。
- 郷土資料の分類や市町村向けサービスなどきちんとわかってない内容を聞くことができた。